

緊急報告

驚愕の改組案が提案されました

—医学部は聖域、他学部はシャッフルしてポイントを抛出させる！？—

全学の皆さん！

昨日（12月22日）に開催された、「学部長・学系長会議」において、驚くべき「提案」がなされました。

その骨子は次のとおりです。

- 1 医学部を除くすべての学部の教員ポイント（＝人員）と学生定員を減じる
- 2 それを新組織（「イノベティヴマリンテクノロジー」の受け皿組織——「海洋学部」や土佐さきがけプログラムなど）に振り分ける。
- 3 大学管理人員を増加させる。
- 4 それに合わせて、全学シャッフルを行う

会議の席上、学部長・学系長から「なぜ医学部は聖域とするのか？」「実態も定かでない海洋学部や、さきがけプログラムに——只でさえ苦しい学部の人員を差し出すのか？」「図の中で位置付けられていない、例えばフィールド農学以外の分野は結局バラバラに切り崩されるのではないか」等の疑問点がすぐ出されました。まさに「驚愕の改組案」です。

執行部がこの時期にこのような「改組案」を出してきた理由は明白です。

学長選考において、執行部に近い候補者が学長に選ばれば、この「案」が実質承認されたことになり、それを想定しての一策にほかなりません。

「対話と協調」などと言いながら、公開討論会には出席せず、このような姑息なやり方を影で推進するとは、一体何でしょうか。まさに、自らの手詰まりを露呈した案であり、逆に、これからの高知大学の改革は、国政の方向性と評価の方法を直接的具体的に把握する体制を作った上で、迅速に進められるべきものではないでしょうか？

このようなやり方を絶対許さないために、学長選において、この案にはっきりとNOをつきつけようではありませんか！